

安全報告書 2014

(2013年度分)



蔵王温泉スキー場

普通索道	蔵王中央ロープウェイ（通年営業）
特殊索道	蔵王中森第1トリプルリフト 蔵王中森第2ペアリフト 中央第1ペアリフトA・B線 中央第2ペアリフトA・B線 ダイヤモンド第1リフト 片貝トリプルリフト

蔵王観光開発株式会社

1. ごあいさつ

平素は、蔵王中央ロープウェイをはじめ弊社リフトをご利用いただき、誠にありがとうございます。

弊社は、東北最大級のスキーリゾートであります蔵王温泉スキー場の中央部に位置し、101人乗りの大型ロープウェイは、冬季は各ゲレンデやスキーコースそして世界的にも有名な樹氷原コースへ、夏季はハイキング・トレッキングコースへのアクセスとして多くのお客様からご利用いただいております。

グリーンシーズンには1370mの鳥兜山頂展望台から月山や鳥海山そして朝日連峰、飯豊連峰の眺望、また蔵王中央高原散策路や不動滝周辺のブナ原生林および蔵王ドッコ沼などの湖沼群がビュースポットならびに観光ポイントであります。

ホワイトシーズンは初滑りから春スキーまで、スキーシーズンが蔵王で一番長い中央ゲレンデ、ビギナーやファミリー向けの中森ゲレンデやダイヤモンドパレーで多くのお客様がスキー・スノーボードを楽しまれております。

ご利用いただいたお客様に、ご満足いただけるよう取組を推進しておりますが、「輸送の安全確保」がすべての事業・サービスの基本であると考え、引き続き継続して関係法令の遵守を徹底し、運転の取り扱い、保守整備、安全対策などに社内一丸となり取組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法および運輸マネジメントに基づき、平成25年度に実施した輸送の安全確保の取組や実態について、皆様にご理解をいただくために公表するものであります。

今後も、安全で快適な輸送のため鋭意努力してまいります所存でございます。何卒、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

蔵王観光開発株式会社

取締役社長 小 関 和 夫

2. 安全方針と安全目標

(1) 安全方針

当社の経営理念の第一は、輸送の安全確保です。安全に係わる行動規範を次の通り掲げ、社長以下全従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規程を含む。以下、「法令」という。）、実施細則をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いを行うこと。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝えること。

⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

輸送安全目標は次の通りです。

- ① 設備不具合による事故を未然に防ぎ、事故発生ゼロの達成・維持
- ② 人身障害事故ゼロの達成・維持

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成25年度、索道運転事故はありません。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

強風・雷・豪雪等のため運行を停止しました。

蔵王中央ロープウェイ	・・・	20日	延100時間
蔵王中森第1トリプルリフト	・・・	2日	延10時間
蔵王中森第2ペアリフト	・・・	2日	延10時間
中央第1ペアリフトA・B線	・・・	1日	延8時間
中央第2ペアリフトA・B線	・・・	1日	延8時間
ダイヤモンド第1リフト	・・・	2日	延16時間
片貝トリプルリフト	・・・	1日	延8時間

(3) インシデント（事故の兆候）

平成25年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

平成25年度、東北運輸局からの指導はありません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

- スノーシーズン営業開始前に施設及び取扱い等についての安全教育を実施しました。



〔社長訓示〕



〔中央ロープウェイ従事者講習会〕



〔特殊索道従事者講習会〕

- 社外教育研修・講習会にも参加し、技術・安全意識の向上を図り、受けた講義を社内で活用しております。

講習名	実施日	参加人数
索道技術研修会	平成25年7月	2名
索道技術管理員等講習会	平成25年9月	1名
索道技術管理者講習会	平成25年9月	3名
雪上車安全運転と救急法講習会	平成25年11月	1名

緊急時対応訓練

- 中央ロープウェイ従事者（13名）は、11月に救助訓練を実施しました。



〔中央ロープウェイ救助訓練〕

- 特殊索道従事者（25名）は、11月に救助訓練・予備原動機取扱講習を実施しました。



〔予備原動機取扱講習〕



〔特殊索道救助訓練〕

（2）安全確保のための交換・修繕

安全の維持・向上のため、毎年計画的に施設の修繕を行っております。
平成25年度に実施した修繕等は次の通りです。

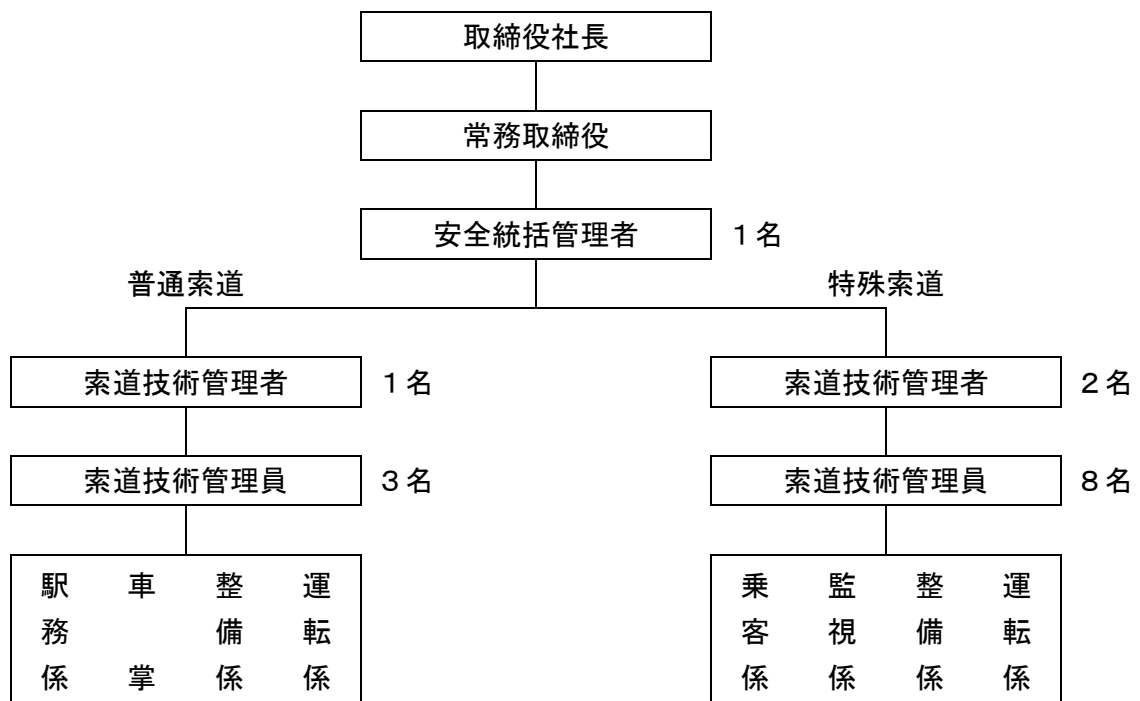
- 中央ロープウェイ 原動設備更新
- 中央第1リフトA線 主原動機オーバーホール
- 中央第1リフトA線 油圧制動機ユニット更新
- 中央第1リフトA線 非常用制動装置サラバネ及びパッド交換
- 中央第2リフトA線 握索機交換（23台）
- 中央第2リフトA線 油圧緊張装置 作動油交換
- 中央第2リフトB線 油圧緊張装置 作動油交換
- 片貝トリプルリフト 搬器取付ボルト・ナット交換
- 片貝トリプルリフト セフティーバー交換（1台）
- 普通・特殊索道 受索輪交換
- 普通・特殊索道 主要軸受の振動検査

5. 当社の安全管理体制

当社では、輸送の安全確保のため、安全管理体制の最終責任者を社長とし、以下安全統括管理者、索道技術管理者及び索道技術管理員を配置しております。各々の役割・責任・権限は下記の通りです。

(1) 役割・責任・権限

- ① 社 長 : 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- ② 安全統括管理者 : 索道事業全般の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
- ③ 索道技術管理者 : 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上および係員教育等の事項に関する業務を統括する。
- ④ 索道技術管理員 : 索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を管理する。



6. お客様との関係とお願い

(1) お客様からのご意見

当社では、お客様の立場に立った、より安全で信頼される索道事業を推進しております。お客様からのお寄せいただいた声は真摯に耳を傾け、当社の財産として、安全で信頼される索道事業を目指し、皆様の期待に応えられるよう努めてまいります。

- 「お客様の言葉」
それは私たちが行動していくための「原点」です。
- 「お客様の期待」
それは私たちが行動していくための「意欲」です。
- 「お客様の感動」
それは私たちが行動していくための「喜び」です。
- 「お客様の評価」
それは私たちが行動していくための「改革」です。

(2) お客様情報の管理

お客様の個人情報を守ることは私たちの基本的なルールです。お客様の情報を本人の同意がある場合、法令に基づく場合等の正当な理由なく、他に漏らす事はありません。

(3) 利用者等への注意事項

- ① 乗り降りに不慣れなお客様は、遠慮なく係員に声をかけて下さい。
- ② 空き缶・煙草の吸い殻・その他の物品を、乗っているリフト等から投げ捨てないで下さい。
- ③ 搬器から飛び降りたり、搬器を揺らさないで下さい。
- ④ 衣服・携帯品・髪の毛等が施設に巻き付かないように注意して下さい。
- ⑤ 混雑時は、ロープウェイ・リフトの定員乗車にご協力下さい。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒990-2301

山形県山形市蔵王温泉940-1

蔵王観光開発株式会社 お客様係

TEL: 023-694-9168 FAX: 023-694-9167